

第6次総合計画
宇治市総合計画審議会
第2回専門部会③
議事要旨

宇治市

宇治市総合計画審議会第2回専門部会③ 議事要旨

<開催年月日>2021(令和3)年12月4日(土)13時~15時

<開催場所>市役所8階大会議室

<出席者>

・委員

白須 正

龍谷大学政策学部 教授

塚口 博司

立命館大学理工学部 名誉教授

鷺ノ口 悟

南山城地区労働者福祉協議会 事務局長

多田 重光

公益社団法人宇治市観光協会 専務理事兼事務局長

長谷川 理生也

宇治商工会議所 専務理事

吉田 利一

京都やましろ農業協同組合 副組合長理事

薄田 徹

市民公募委員

寺川 徹

市民公募委員

山本 互

市民公募委員

計9名

・理事者

松村 淳子

市長

川口 龍雄

副市長

・技監・理事

小野 孝司

技監

平野 裕之

理事

・公室長

秋元 尚

市長公室長

・部長

脇坂 英昭	産業地域振興部長
五十嵐 司	建設部長
久下 伸	都市整備部長
伊賀 和彦	教育部長

・総合計画審議会事務局

貝 康規	政策経営部長
遠坂 尚	政策経営部副部長
大北 浩之	政策経営部経営戦略課長
佐々木 卓也	政策経営部経営戦略副課長
藤丸 博克	政策経営部経営戦略課主任

計 14 名

< 審議会次第 >

1. 開会
2. はじめに
3. 議事
第 6 次総合計画第 1 期中期計画(案)について
4. 閉会

<会議内容>

1. はじめに

【部会長】

それでは、定刻になりましたので、これより総合計画審議会第2回専門部会を開会させていただきます。

会議の開催に際して連絡事項を申し上げます。本日の専門部会について、傍聴の申請があり、これを許可していますので連絡します。

会議を進める前に、事務連絡がありますので、事務局からお願いします。

2. 開会

【事務局】

本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。会議をはじめます前に、事前に欠席のご連絡をいただいていますので報告します。

◇欠席者の報告(日野委員 計1名)

また、ご就任いただいている関係団体で、委員の交代がありましたのでご報告します。

◇委員交代の報告(一般社団法人宇治青年会議所理事 矢野委員)

会議の進行に先立ちまして本日の会議資料の確認をさせていただきます。

《 資料① 第6次総合計画第1期中期計画重点施策(案) 》

《 資料② 第6次総合計画第1期中期計画(案) 》

《 参考資料① 第6次総合計画の全体像(案) 》

《 参考資料② 総合計画審議会意見及び市民アンケート分析結果(交通の利便性) 》

以上、4点の資料で会議を進めさせていただきます。

本日は、第1期中期計画の各分野の目標や主な取組について、第1回専門部会で議論いただきました重点施策も含めて議論をお願いしたいと考えています。

本日の議事の流れですが、まず、第1期中期計画(案)に関する参考資料である第6次総合計画の全体像(案)、これまでの審議会でもいただいた主な意見、第1回専門部会で意見をいただいた市民アンケート結果の分析結果を説明します。

次に、重点施策(案)と第1期中期計画(案)を説明します。

重点施策(案)は、第1回専門部会での意見を踏まえた修正を説明します。また、重点施策には、施策の達成度を測る成果指標の設定を検討しています。成果指標は、各分野で設定している指標の中から重点施策の視点に沿った指標を整理して設定することを予定しています。

第1期中期計画(案)の各分野については、各専門部会で設定しているまちづくりの方向に関連する分野について説明します。第1期中期計画の各分野は、「目標」「成果指標」「現状と課題」「目標達成に向けた主な取組」「関連する部門計画」で構成しています。なお、本日は「目標」「目標達成に向けた主な取組」を中心に説明します。「目標達成に向けた主な取組」について追加の取組や取組にあたって工夫などの意見をいただきたいです。また、重点施策の指標についても意見をいただきたいと考えています。

3. 議事

第6次総合計画第1期中期計画(案)について

【部会長】

それでは議事を進めさせていただきます。今回は、第1期中期計画(案)についての議論が中心になりますが、まずは前回の議論も踏まえ、第6次総合計画第1期中期計画(案)の議論に入る前に前回の重点施策の確認を含め、事務局から資料の説明をお願いします。

(事務局より参考資料①②及び資料①の説明)

【部会長】

事務局から参考資料①②と資料①について説明いただきました。事務局からの説明について意見及び質問などはありますでしょうか。

なお、会議録を作成する関係上、ご発言の際はその都度名前の発言をお願いします。また、会議録は情報公開の対象となりますことをご連絡します。

【委員】

参考資料①は、これまでの全体会での意見などが反映された形で整理いただいていると思います。全体としてはこれでよいと思いますが、気になる点が1つあります。安全・安心に住み続けられるまちで、安全安心に関する分野が並んでいますが、交通安全が入っていません。交通は地域経済が活発なまちで整理されていますので、この構成でよいですが、安全・安心に住み続けられるまちの部分に、交通安全は24.交通及び26.道路で記載してあることを明記しておくほうがよいと考えます。

【事務局】

前回よりご意見いただいている部分になりますが、各分野にそれぞれまたがる取組もあります。全体像を整理するにあたっては、主として該当する分野(関係が深い分野)に紐づけています。今いただいた意見も踏まえて、再度整理をさせていただきます。

【部会長】

それでは、第6次総合計画第1期中期計画(案)について議論を進めていきたいと思います。「地域経済が活発なまち」と「伝統と歴史が輝くまち」について、1つずつ議論を進めます。まずは「地域経済が活発なまち」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局より資料②の地域経済の分野の説明)

【部会長】

専門部会は、多彩な分野からの専門の方と市民の方に参加いただいています。まず、1人ずつご発言いただき、その後で追加があれば発言をいただく形で進めていきますのでよろしく願います。

【委員】

緑化について、宇治市役所前は並木がきれいでしたが、落ち葉の問題もあり伐採されてしまいさみしい印象があります。城陽市にある鴻ノ巣山公園では並木がきれいで、春も秋も緑や紅葉が楽しめます。せっかく並木があるため、さみしい雰囲気はなくせないかと考えます。

先日、亀岡市に行ったときのことで、田んぼの真ん中に車しか通らない道路がありますが、車道の両脇の並木がすべて伐採され、コンクリートで固められていました。宇治市も景観として非常に惜しいという気持ちになります。

【委員】

分野 22「持続可能な農林水産業の振興」の 4.目標達成に向けた主な取組の「6.森林の機能保全の推進」について、私は山城地方の木材供給の団体の方と関わりがあり、山を適切な状態で保っておかないと災害が起こってしまうため、材木を出すなど山の整備に取り組んでいます。その方々から宇治市についての取組は聞いたことがありません。

今回の成果指標 6「保全する森林面積」を設定し、森林面積を維持することを目標にしていますが、取組の「機能保全」の取組の内容を確認したいです。

分野 23「潤いあふれる緑化の推進と公園の整備」の 4.目標達成に向けた取組の「3.公園・緑地の整備と管理」に関連しますが、子どもたちが遊んでいる市内の公園では「ボール遊びをするな」など、強い口調の掲示があります。子どもの目に触れる掲示であるため「ボール遊びはできません」など、少し柔らかい表現に変更してほしいです。

分野 25「良好な市街地の形成」の 4.目標達成に向けた取組の「5.パートナーシップによる都市づくり」に「まちづくり・景観条例を活用する」という記載があります。宇治市の場合、景観まちづくり条例がありますが、この条例は画一的な内容になっています。具体的には、駐車場は、まちづくり条例に関わるものは 30 平米以上の開発ですが、駐車場の定義に関する基準は、駅周辺とそれ以外で区分されています。例えば、宇治駅から少し離れたところの駐車場で必要な台数と、街中で必要な台数が同じになっています。この条例により、宇治市は開発がしにくいと考えるディベロッパーが多いそうです。今後、宇治市に新たな人の流入があり、宇治市で何かをしたいと思ってもらえる人が増えるよう、今回を機会に条例の見直しをしてもよいと考えます。

分野 26「地域特性を活かした道路の整備」の 4.目標達成に向けた主な取組の「3.道路の改良」で「通学路等の交通安全対策」については保護者の間でもよく話に出てきます。この取組に関して「ゾーン 30」の件数などを指標として設定してもよいと考えます。

【委員】

国の方向及び方針などは参考に記載するほうがわかりやすいです。農業振興などは生活に密着した内容ではないため市民には理解しにくい分野ですが、国の施策は「農業自給率何%」「将来こうしなければ危ない」など、国の動き(方向性や取組のポイントなど)の記載があれば、市の方向性もわかりやすくなるのではないかと思います。

【委員】

分野 21「戦略的な産業振興」の 4.目標達成に向けた主な取組の「6.人材確保と勤労者支援」の「市内事業者の人材確保と若い世代の就労機会を創出」について、市内の事業者が人材確保のために求人を行う際に活用できる市の制度があれば追加をしてほしいです。

【委員】

分野 23「潤いあふれる緑化の推進と公園の整備」の 4.目標達成に向けた主な取組の 2 及び 3 に関連しますが、天ヶ瀬ダムなどの観光的及び周遊的な点から、宇治市森林公園の復旧をどこかに加えていただきたいです。

【委員】

すべての分野について、目標達成に向けた主な取組を記載いただいています。その取組をいかに実行するかが重要であると思います。

また、市役所前の通りの街路樹ですが、紅葉前に伐採するのは早すぎると思います。落ち葉の問題で伐採の要望もあると思いますが、以前、金沢に行ったとき、銀行の入り口が落ち葉でいっぱいでも伐採せず、紅葉が終わるまで伐採はしないという話を聞きました。意識の問題もあるのかもしれませんが、紅葉を楽しむくらいの余裕があるとよいと思います。

【委員】

分野 24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」及び分野 26「地域特性を活かした道路の整備」に関連して、今後の都市構造をどのようにしていくかですが、コンパクト・プラス・ネットワークという概念があります。少し広がりすぎた地域を上手に活用する場合に、拠点整備をするとともに拠点間をネットワーク化するという考え方です。

分野 24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」の 4.目標達成に向けた取組の「1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応」の「新たな移動ニーズに対応していくために、既存公共交通との整合性を図りながら地域に応じた移動手段の確保に取り組みます」の記載について、市内エリアについてコンパクト・プラス・ネットワーク化の概念に従ってネットワーク化するという文章を加えたほうがよいと思います。

同じ観点で、分野 26「地域特性を活かした道路の整備」の 4.目標達成に向けた取組、「1.道路ネットワークの構築」の市内の道路環境についても、各エリアのネットワーク化に関する文章を補うほうがよいです。2行目に「地域間の交流促進を進めるとともに、市民の安全安心のための防災機能の強化」と記載がありますが、地域間においてネットワーク化をはかるため、道路整備が必要なところや道路整備は既にできているが道路の運用・管理の仕方を工夫することによってネットワーク化を充実させるなどの内容が盛り込まれるとよいと考えます。

【副部長】

分野 21「戦略的な産業振興」について、2.成果指標と 4.目標達成に向けた主な取組の整合がとれていないと思います。

また、分野 24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」の成果指標 1「市内鉄道駅乗客数」について、5年後に令和 2 年度の現状値から増加させるという目標を掲げています。今後、人口が減少していく中で達成が厳しいと考えますが、このような目標を掲げるのであれば、目標達成に向けた主な取組をしっかり記載していく必要があると考えます。

分野 26「地域特性を活かした道路の整備」も同様に、2.成果指標と 4.目標達成に向けた主な取組の整合がとれていないと思います。

【部長】

各委員からさまざまな意見をいただきました。この後は、自由に発言をいただきたいと思いますが、その前に事務局からここまでの意見に関してお伝えすることはないでしょうか。

【都市整備部長】

ボール遊びの看板については、文章の表現を検討させていただきます。

次に、「パートナーシップの都市づくり」に関して、まちづくり景観条例の話がありました。平成 20 年度に条例を作った当初は、宇治市全体で地域間の不公平感がないように画一した基準・内容

でガイドラインを作成しました。今後、地域の特性や都市計画を踏まえ、内容を検討していきます。

【産業地域振興部長】

森林の保全についてですが、宇治市全体の3分の2が山間もしくは森林です。所有は公有・私有がありますが、法的な観点から適切な管理が必要であると考えており、森林組合と相談・検討を進めていきたいと思えます。

次に、産業の人材確保について、市内企業を集めた合同説明会や工場見学(オープンファクトリー)も実施しており、人材を確保しやすい環境づくりに取り組んでいます。引き続き、産業面での人材確保について検討していきます。

また、森林公園の復旧について、森林公園ではなく農林茶業課の所管ですが、市民からすると同じ公園の担当ととらえられていることは理解しています。適切な管理に向けて、4.目標達成に向けた主な取組「3.公園緑地の整備と管理」の中での記載を検討します。

成果指標と取組内容の不整合については、改めて事務局と調整し、どのような指標が適切か再検討します。

【建設部長】

道路の街路樹の剪定が早いという意見について、地域から街路樹の枝葉による見通しの悪さや落ち葉によるバイク・自転車の転倒の可能性など、交通安全上の課題があることから対応しています。一方で、景観維持は重要であるため、剪定時期を含め、どのような対応が適切か引き続き検討します。

通学路等の安全対策の1つとして「ゾーン30」の取組を進めてきました。市内では、これまで2地域で「ゾーン30」を実施しています。今後も交通安全の1つのツールとして警察及び地域と協力して継続して取組を進めます。

分野26「地域特性を活かした道路の整備」の4.目標達成に向けた主な取組「1.道路ネットワークの構築」について、広域ネットワークの視点からの記載となっているため、宇治市の地域間でそのような取組ができるか検討します。また、2.成果指標と4.目標達成に向けた取組の不整合については、わかりやすい成果指標の設定を検討しているところですが、引き続き、適切な成果指標の設定を検討します。

【都市整備部長】

分野 24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」の成果指標 1「市内鉄道駅乗客数」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用客数が極端に減少しています。今後、コロナ前の状態に戻ったとしても、現在の7～8割程度に留まると予測しています。そのため、成果指標及び取組内容は再検討します。

また、コンパクト・プラス・ネットワーク化について、交通の分野で記載していませんが、分野 25「良好な市街地の形成」の4.目標達成に向けた取組の「1 地域特性を活かしたまちづくり」で「都市計画の規制・誘導方策を活用し、居住や医療、福祉、商業、公共交通などの都市のサービスの維持・発展のため、計画的な誘導を図ります」と記載しています。交通の分野にどのように記載を追加するかは検討します。

【部会長】

事務局の意見なども含めて、どの分野でも結構です。意見及び質問はありますでしょうか。

【委員】

分野 24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」について、移動しやすいには、安心安全という意味も含まれていると思います。自分は、既に仕事をリタイアし自由な生活を送っていますが、日常生活の中での移動で近鉄と京阪の駅で無人化している駅が増えており、老人や身体障害者、外国人にとって大変不便になっています。そのため鉄道事業者と連携して対応を検討してほしいです。朝の通勤時間帯も無人になっている駅があるため危険です。鉄道事業者も経営上の判断もあると思いますが、安心安全という意味でもバリアフリーとともに追加をお願いしたいです。

【委員】

分野 21「戦略的な産業振興」について、産業振興に学校関係の内容が入ってもよいと思います。宇治の若い世代は大学生になると、社会人と同様、京都や大阪など市外へ通うようになります。このような方々に宇治に関心を持ってもらうため、宇治には寝に帰ってくるだけでなく、外に住んでいる方にも宇治に来てもらい、宇治で生活や活動の基盤を作ってもらうことも必要であると考えます。

以前、福知山市に私立大学がありましたが、大学経営が立ち行かなくなり、福知山市が買い取り、公立で今でも経営を続けています。人口が減ってくると、若い人が減っていくことを痛切に感じ

ているため、宇治も福知山市のような視点が必要であると思います。「宇治に残ってもらう」「宇治に愛着をもってもらう」という視点が欠けていると思います。そのため、この分野では大学誘致についても記載してもよいと思います。

【産業地域振興部長】

人口確保のための学校誘致ですが、大学までは宇治で暮らし、就職で市外へ転出するという傾向があります。これについて、宇治の魅力をどのように発信し来てもらうか、また、幼い頃から宇治を知って愛着を持っていただける取組や住みやすいまち、子育てしやすいまちの取組を進めています。また、市内で雇用ができる取組も進めています。大学誘致は、内部で検討したいと思いません。

【都市整備部長】

駅の無人化について、ホームの片側に駅員を配置している駅もありますが、伊勢田駅は無人になっており、駅設置のインターホンは大久保駅につながっています。鉄道事業者に対しては、通勤や通学の時間帯は可能な限り駅員の常駐対応をしていただきたいとお伝えしています。鉄道事業者も経営が厳しい状況であるため、常設が難しい駅もあります。しかし、専門部会で意見をいただきましたので、改めて鉄道事業者と調整したいと思います。

【部会長】

それでは、「伝統と歴史が輝くまち」について、事務局より資料の説明をお願いします。

(事務局より資料②伝統と歴史の分野の説明)

【部会長】

それでは、先ほど同様に、委員から意見をいただき、その意見を踏まえて事務局から意見をいただきます。分野は限定しませんので、自由に発言をお願いします。

【委員】

分野 28「文化芸術が香るまちづくりの推進」の成果指標 3「源氏物語ミュージアム講座等開催数」について講座開催数となっており、入館者数などの成果指標とするほうがわかりやすいと考えます。

分野 30「適切な文化財の保存・活用」の 3.現状と課題に「文化財の市指定を進めるための文化財調査など保護する体制づくり」という記載がありますが、宇治文庫などの出版物は豊富ですが、お寺に拝観に行きにくいという問題があります。小さいお寺が多いため、突然拝観に来られても対応できないという事情もあるかもしれませんが、文化財を拝観する機会がないため、市民も見ることがないと思います。実物を拝観したり、美術品を鑑賞したりする機会をつくってほしいです。

【委員】

分野 27「伝統ある宇治茶の継承・発展」について、「伝統と歴史が輝くまち」は重点施策③が専門部会と関係していると思います。お茶に関する成果指標は重点施策に入っていますが、分野 28 以降の指標が入っていません。文化振興や歴史景観の取組は、中期計画の中で重点からは外れている印象です。分野 27「伝統ある宇治茶の継承・発展」の 4.目標達成に向けた主な取組の「1.宇治茶のブランド力の強化」で、昔からやってきたことを継承していくという意思是伝わりますが、「茶を使ったイノベーション」の話しが少しあればよいと思います。

昔からの取組を継続している方もいますが、新たに宇治茶の圧倒的なブランドを使って何かをしたいと思っている若者も一定数います。宇治茶の葉を使って紅茶を作る、宇治茶の新しい魅力の発掘に挑戦するなどについて「1.宇治茶のブランド力の強化」に伝統的な茶製法の継承にプラスして、イノベーション支援の記載があればよいと思いました。

分野 28「文化芸術が香るまちづくりの推進」について、地域の絆・まちづくりへとつながるような文化芸術があればよいという目標であると思います。目標達成の成果指標が「ミュージアムの講座開催数」となっている点に違和感があります。住民参画のイベント支援や企画支援を指標としてほしいです。4.目標達成に向けた主な取組の「2.次世代への文化芸術の継承」の「子どもの頃から文化芸術にふれることで」という取組内容が生きてくると思います。

分野 29「歴史と景観が一体となったまちづくりの推進」について、宇治市の場合、都市部における重要文化的景観第 1 号の指定を受けていることを知りました。選定プロセスで重要文化的景観は元々田園や棚田ですが、都市の中で生業をつくる景観も重要であり宇治が選ばれました。選定プロセスで対抗都市として名前があがっていたのが金沢市であり、その結果、宇治市が選ばれたため重責があると思います。

その後、重要文化的景観構成の追加が進んでいなかったため、現在取組を進めていると聞いています。関連する部門計画から1～4と計画がたくさんありすぎると思います。成果指標1「景観重要建造物の指定件数」がありますが、まちにとって大切な建物に対してどのような支援策があるか調べてみると、文化財や重要文化的景観構成や景観重要建造物、歴史的風致形成建造物など複数の指定の種類があり、所有者もどのような対応をすればよいかわからないという話を聞きました。関連する部門計画が複数あるにも関わらず、成果指標が1つしかないことがそれを表しているのかなと思います。

また、指定件数は現状値2件で目標値4件であり、目標値としてはさみしい印象です。鎌倉市では19年間で31件、豊田市では120件指定されています。景観重要建造物に指定されれば相続税の優遇などもあります。

【委員】

先ほどの経済のところ、国の方向性や方針を示すほうがわかりやすいというお話をさせていただきましたが、市が施策として市民と密着し進めている取組を掲載してもよいと思います。

具体的には、分野28「文化芸術が香るまちづくりの推進」の4.目標達成に向けた取組の「5.宇治の歴史・文化の継承・普及」で歴史資料館に関する記載がありますが、年数回は企画展を開催しています。歴史資料館での取組などを数値として表示するのがよいと思います。図書館もさまざまな工夫をしています。市だけでなく京都府や京都市など近隣の市町村と連携し、本の取り寄せができます。このような取組を市民と密着している内容を記載すると、より愛着が持てると思います。また、毎年実施している技能功労者への表彰なども関連づけるとよいと考えます。

分野29「歴史と景観が一体となったまちづくりの推進」の成果指標1「景観重要建造物の指定件数」の現状値の2件は何を指しているか具体名で記載してほしいです。分野30「適切な文化財の保存・活用」に成果指標1「市指定文化財の指定件数」も同様に、具体名で記載してほしいです。成果指標2「有形文化財保存率」もわかりにくいいためわかりやすく表示してほしいです。

このように市民にとって親しみやすい計画となるよう工夫してほしいです。

【委員】

分野31「魅力ある地域資源を活かした観光振興」の1.分野の目標の「一度訪れた観光客がまた訪れたいと思うまちを目指します」について、最近新型コロナウイルス感染症が少し落ち着

き、商店街を訪れる観光客の方も多くなってきていますが、シャッターが閉まっているお店も多いです。宇治の若い経営者を巻き込んで、シャッターを1つでもなくしていければよいと思います。

【委員】

分野 27「伝統ある宇治茶の継承・発展」について、宇治茶だけでなく産業全体としても、担い手の育成に関する成果指標を設定するのがよいと考えます。成果指標 2「茶品評出品点数」などで長期的な視点では把握できると思いますが、より直接的な指標を設定するほうがわかりやすいと思います。

【委員】

分野 27「伝統ある宇治茶の継承・発展」に関して、平成 27 年に「日本茶 800 年の歴史散歩」に認定を受けています。成果あるいは目標の中に認定を受けたことでの活用や山城地域全体の発展について記載いただきたいです。

分野 28「文化芸術が香るまちづくりの推進」か 30「適切な文化財の保存・活用」に該当すると思いますが、「お茶と宇治のまち歴史公園」が本年度オープンしており、その施設の 2 階に会議室があり、講座が開催されています。成果指標 3「源氏物語ミュージアム講座等開催数」を設定するのであれば、「茶づな」の活用なども盛り込むでもよいと考えます。

分野 31「魅力ある地域資源を活かした観光振興」の成果指標 3「観光消費額」がありますが、海外からの観光客に関する内容の記載がありません。海外の観光客の方は消費単価が高いため、コロナの収束が前提ですが、海外誘致の取組が必要です。また、4.目標達成に向けた主な取組「2.効果的な情報戦略と広域的な連携によるプロモーション」の「観光客の獲得」を「観光客の誘致」に変更いただくほうがよいと考えます。また、「インターネットを活用した」という部分で、現在は観光客が旅行先を調べるツールとしてSNSからの情報も大きいため「インターネットとSNSを活用した」という表現するのがよいと思います。

【委員】

分野 27「伝統ある宇治茶の継承・発展」について、京都府のお茶は全国で約 3%であり、その中での宇治茶はより少ないです。しかし、東京や東北で学生に「お茶はどこが有名か」と尋ねると「宇治茶」と回答していただいています。なぜこれだけ有名かという、生産者が品評会で上位入賞しているからだけではなく、業者が営業し、宇治茶を広めていることや行政が宇治市のキャッチ

フレーズを「茶と観光の宇治」でアピールしてる結果です。生産・業者・行政の三位一体となった力でこれだけの知名度があります。

一方、農業はお茶だけではありません。茶業は山城地域ではメイン産業ですが、京都の北側ではマイナーな産業です。久御山では、ビニールハウスで京野菜を栽培しているところが多いです。しかし宇治は少ないのです。その理由は、平日は会社勤めで土日に農業をしている方が多いからです。農業は茶だけではなく、京野菜や米もあります。あらゆる生産物での農業振興をお願いしたいです。先日の小倉駅周辺の説明会でも、小倉周辺はバリアフリーであり散歩をしやすいです。また、どこからでもバードウォッチングもできるような土地です。そのため、お茶も大切ですが、農業も大切にしてほしいです。

【委員】

本専門部会のテーマである伝統と歴史が輝くまちに紐づけられている分野 27 から分野 31 のうち分野 28、分野 29、分野 30 は内容に似通っている印象です。記載内容はそのとおりなのですが、よく似ている内容を複数の視点から複数の部署が取組を進めていくことになるため、わかりにくくなると思います。そのため、内容の整理をお願いしたいです。

【副部長】

分野 27「伝統ある宇治茶の継承・発展」の 4.目標達成に向けた主な取組の「4.魅力ある宇治茶の情報発信と販路拡大」の「海外輸出を視野に入れた取組を支援します」について、多くの業者で既に海外への輸出を進められていると思います。「市内産のお茶を作っている方のお茶を輸出する」という内容であれば理解できますが、この言葉の表現は誤解を生む可能性があるため、検討いただきたいです。

観光について、「伝統と歴史が輝くまち」に紐づいていますが、観光は産業という認識を持っています。そのため、分野が横断する箇所については説明を記載いただきたいです。

【部長】

委員からさまざまな意見いただきました。事務局の方々から意見などはございますでしょうか。

【教育部長】

分野 28「文化芸術が香るまちづくりの推進」の成果指標について、講座開催数ではなく、入館者数を指標として設定するほうがよいという点について、主な取組で記載しているように展示・講座を実施してより効果的に情報発信に取り組むことを考えているため、源氏物語や文化連続講座、源氏物語セミナーを増やしていきたいため講座開催数を成果指標に設定しています。ちなみに、入館者数は、令和元年度は 10 万人程度、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり 5 万人弱です。

歴史資料館や企画展の開催回数を含めるという意見については、歴史資料館が本年度から常設展に変更しており、源氏物語ミュージアムと歴史資料館と連携しながら企画展や特別展を実施しています。このように展示方法を変更したため設定していません。

また、図書館は、生涯学習の分野で記載していますが、主な取組の中で子どもの頃からのまちづくりがベースとされることも含めて、学校や図書館と連携を深めて進めていくため、記載内容は改めて検討します。

【都市整備部長】

お寺の拝観について、分野 30 で市民共有財産である文化財への意識を醸成する必要があるという課題を記載しています。これについて対応を検討していくべきと考えています。ただし、お寺を 1 人で経営されている方も多く対応が難しいこともあります。このような点も考慮し、歴史資料館と調整しどのように見てもらえるか取組を検討します。

関連部門が多い点については、文化的景観は、宇治市景観計画により、まちの景観を守っています。その上で、文化的景観を守るという位置づけになっているため統合が難しいです。また、歴史的風致維持向上計画は景観的なものではなく、宇治市の祭礼やお茶、文化財に対する計画となっています。

「景観重要建造物の指定件数」「市指定文化財の指定件数」「有形文化財保存率」などの成果指標について、市民の方が見てわかりやすい指標となるよう検討します。また、市指定文化財は、東北地方の 1 軒分程度の規模の文化財を宇治橋周辺地域に持っており保有数は多いです。

【産業地域振興部長】

指標と取組の不整合については、改めて調整させていただきます。

お茶に関する取組は褒めていただきましたが、農業振興に関する取組も力を入れてほしいということでした。分野 22 でハウス栽培などの新たなチャレンジについて取組を進めていきたいと考えています。また、お茶の海外輸出については記載内容を再検討します。

観光が産業分野に該当するのではないかという意見については、観光は産業分野にも該当しますが、観光は宇治茶と並んで歴史という観点も強いため、複数のまちづくりの方向に横断的に関わる分野の記載は検討します。

【委員】

私は、京都文教大学と宇治が連携して取り組まれている宇治市高齢者アカデミーの 8 期生です。先日の日曜日に各グループでテーマを設定し散策するというフィールドワークを行いましたので、その報告をします。

「お茶」をテーマに設定し、まず、平等院でお茶とお菓子をいただきました。次に上林記念館に行き、入館料を支払い、案内はなかったため自由に見て回りましたが、展示物はリニューアルするのがよいものが相当数ありました。観光に積極的に活用するのであれば、費用をかけて展示をわかりやすくする必要があると思います。上林記念館は、民間経営であるため、行政の介入は難しいかもしれませんが、歴史や文化を伝えるのであれば、ボランティアを入れて、解説する人を配置してもよいと思います。

次に、宇治橋商店街を歩き、茶づなに行きました。平等院からの人の流れが大変多かったです。茶づなを訪れている人の数が少なく驚きました。そのため、動線や人流を考える必要があると思います。例えば、文教大学から茶づなまでをつなぎ、昔京都の微六園で実施していたお茶壺道中のようなイベントをしたりするなど、歴史や文化をしっかりと魅せることを考えた動線をしっかりと整えるべきだと思います。また、歴史や文化を整理し、ボランティアを活用した解説に取り組むことが必要と考えます。

【部会長】

各委員からさまざまな視点から貴重な意見がありました。成果指標の設定は難しいですが、適切な指標を再検討いただければと思います。

4. 閉会

【部会長】

それでは、予定の時間になりましたので、本日は閉会させていただきます。

最後に事務局より、挨拶をいただきます。

【政策経営部長】

本日は貴重なご意見をいただきありがとうございます。各部局とも相談し、内容の整理を進めます。いただいた意見の中には、より具体的な取組に関する意見もありました。「計画も大事だけであるが、実施していくことが重要である」という言葉をいただきましたので、本日の内容は、計画だけでなく、今後の市政運営にも活かします。

また、成果指標についてもさまざまなご意見いただきました。目標達成に向けた主な取組との整合や目標値の設定根拠、それを踏まえた取組が十分でないという意見もいただいています。いただいた意見を踏まえて、改めて見直しをかけていきます。中には設定が難しい指標もありますが、それぞれの分野の目標の達成状況を把握するために非常に重要であるため、可能な限り、市民にわかりやすい表現となるよう各部局と調整をしていきます。

また、若い世代の流出が課題であるというご指摘もありましたが、市としても大きな課題として認識しています。今後4年間で力を入れている取組として重点施策を3つ整理していますが、そこにも、小中学校での宇治学や働きやすい環境づくり、市内企業の雇用確保や企業誘致などの取組を記載しています。福祉・教育・産業と一体となり、この問題について取り組んでいきたいと考えています。大学誘致の提案については、地元の大学と連携協定も締結していますので、今後どのような取組ができるか検討していきます。

本日頂きましたご意見をしっかり確認し、見直しを行い、次回の全体会にご提示できればと考えています。

【部会長】

それでは以上をもちまして、本日の部会は閉会したいと思います。

長時間に渡りましてどうもありがとうございました。

---了---